変額保険

グローバルミックス

特別勘定の月次運用レポート

2022 年 12 月度

＜目次＞

1. 運用環境の主な状況 1 ページ
2. 特別勘定の運用方針/運用状況 2 ページ
3. [参考情報]投資信託の運用実績・状況 3-7 ページ
4. 当保険商品の注意事項 8 ページ

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-568-093
平日 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00
(日・祝日、12月30日～1月4日を除く)
https://www.axa.co.jp/

■ 当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしておりません。
■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。
■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。
そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクについては本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品の詳細については、「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

運用環境の主な状況

（2022年12月末現在）

■ 日本株式市場

日本株式市場は下落し、TOPIX（東証株価指数）は前月末比-4.73%の1,891.71ポイントで終えました。米国株式市場が下落したことや、日銀が長短金利コントロールの許容変動幅を拡大したことが実質的な利上げと市場では受け止められたこと等から、日本株式市場は下落しました。
日本小型株式市場は下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は下落し、NYダウ工業株30種は前月末比-4.17%の33,147.25ドルで終えました。FRB（連邦準備制度理事会）の金融引き締めが長期化するとの見方や業績悪化懸念が強まったことを嫌気して、米国株式市場は下落しました。

欧州株式市場は下落し、独DAX指数は前月末比-3.29%、仏CAC40指数は前月末比-3.93%で終えました。ECB(欧州中央銀行）がインフレ抑制の為の金融引き締めを継続することを示唆したこと等から、欧州株式市場は下落しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場は下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には0.422%となりました（前月末0.253%）。日銀が長短金利をコントロールする際の許容変動幅を拡大したことが、市場に実質的な利上げであると受け止められたこと等から、長期金利は上昇しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には3.875%となりました（前月末3.605%）。12月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、長期的な政策金利の見通しが発表され、今後のFRB（連邦準備制度理事会）の金融引き締めが長期化するとの見方が強まったこと等から、米国の長期金利は上昇しました。
米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場においては、独10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には、2.571%となりました（前月末1.930%）。ECB(欧州中央銀行）がインフレ抑制の為に金融引き締めを継続することを示唆したこと等から、長期金利は上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比-6.17円の132.70円となりました。日銀が長短金利コントロールにおける許容変動幅を拡大させたことを受けて、日本の長期金利が上昇したことから、米ドルは対円で大幅下落する展開となりました。

ユーロ/円相場は前月末比-2.11円の141.47円となりました。日銀の政策変更を受けて日本の長期金利が上昇したこと等から、月後半にはユーロは対円で大幅下落する展開となりました。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用方針/運用状況

(2022年12月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

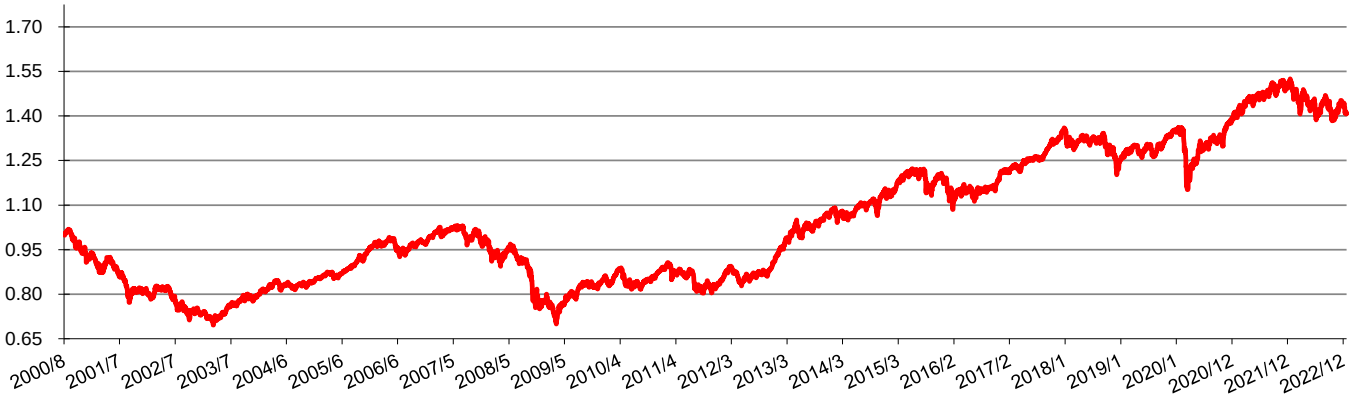
日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。
運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。
(特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社　ALM＆特別勘定運用部が行います。)

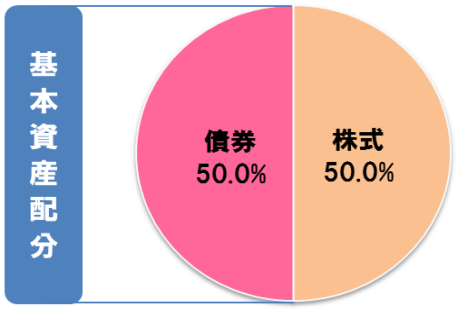
■ 利用する投資信託

委託会社…アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
投資信託…アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

■ 特別勘定のINDEXの推移

※特別勘定のINDEXは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。





INDEX	騰落率(%)					
2022年12月末	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.410	△ 2.21	1.91	0.13	△ 6.96	4.34	41.02

※特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のINDEXの変動率を表しています。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

銘柄		金額	%	参照頁
現預金・その他		1,989,453	4.3	―
株式	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉	4,837,752	10.4	P.3
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 〈適格機関投資家私募〉	7,052,299	15.2	P.4
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉	6,368,669	13.7	P.5
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉	4,890,417	10.5	P.6
債券	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 〈適格機関投資家私募〉	21,380,265	46.0	P.7
合計		46,518,857	100.0	―

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年12月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

■ 純資産総額

49 億円

■ 設定日

2000年8月3日

■ ベンチマーク

東証株価指数（TOPIX）

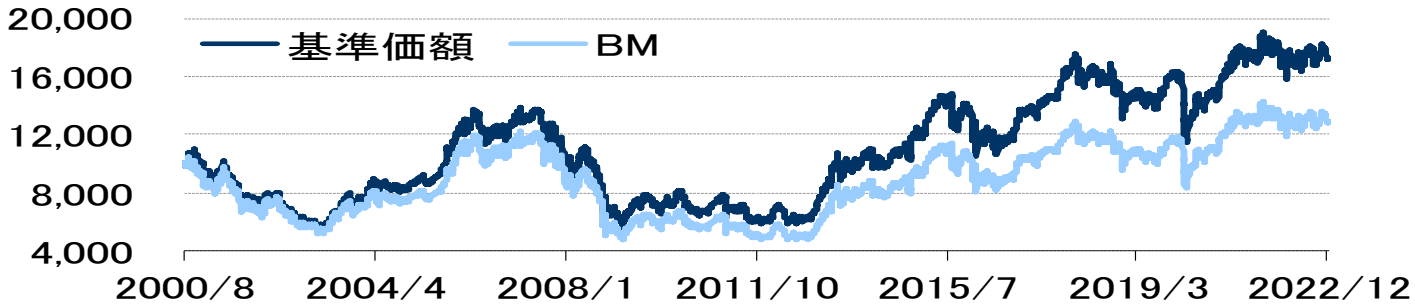
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 4.78	2.54	1.53	△ 5.11	5.76	71.04
BM	△ 4.73	3.04	1.12	△ 5.05	9.90	27.59
差異	△ 0.05	△ 0.50	0.41	△ 0.06	△ 4.14	43.45

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：248

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.39
2	ソニーグループ	電気機器	2.34
3	任天堂	その他製品	1.95
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.72
5	キーエンス	電気機器	1.72
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.66
7	ソフトバンク	情報・通信業	1.65
8	本田技研工業	輸送用機器	1.58
9	日本電信電話	情報・通信業	1.56
10	パナソニックホールディングス	電気機器	1.29

■ 株式組入上位5業種（%）

1	電気機器	17.28
2	情報・通信業	9.32
3	輸送用機器	8.44
4	医薬品	6.62
5	小売業	6.56

■ 市場別構成比率（%）

プライム市場	97.70
スタンダード市場	0.91
現金等	1.40

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年12月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

■ 純資産総額

93 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

東証株価指数(TOPIX)

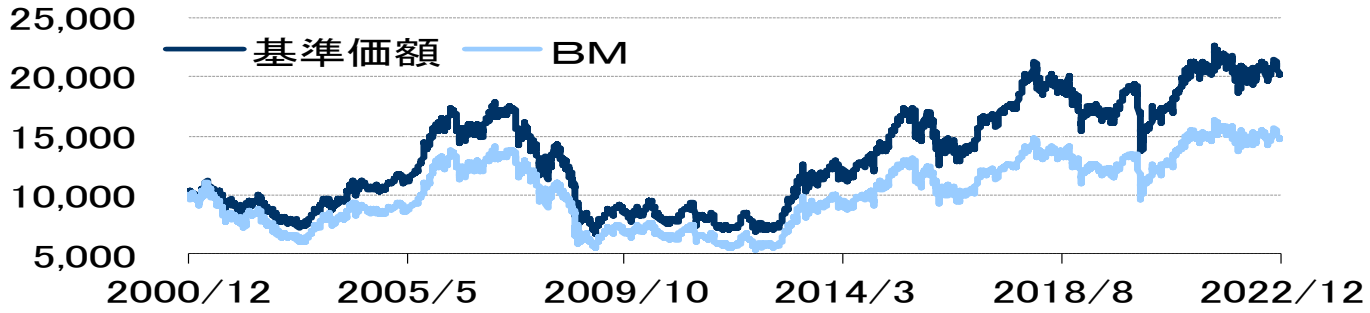
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 4.84	2.78	1.69	△ 6.03	5.25	101.67
BM	△ 4.73	3.04	1.12	△ 5.05	9.90	46.72
差異	△ 0.11	△ 0.26	0.58	△ 0.98	△ 4.65	54.95

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又はJPX総研のグループ会社に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：170

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	2.96
2	日本電信電話	情報・通信業	2.79
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.58
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.45
5	任天堂	その他製品	2.37
6	武田薬品工業	医薬品	2.24
7	キーエンス	電気機器	2.15
8	本田技研工業	輸送用機器	1.95
9	ソフトバンク	情報・通信業	1.95
10	ソニーグループ	電気機器	1.90

■ 株式組入上位5業種(%)

1	電気機器	17.18
2	情報・通信業	9.86
3	輸送用機器	8.39
4	医薬品	7.81
5	小売業	6.66

■ 市場別構成比率(%)

プライム市場	95.62
スタンダード市場	2.52
グロース市場	0.23
地方単独上場	0.09
現金等	1.54

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年12月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

64 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

S&P500種株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

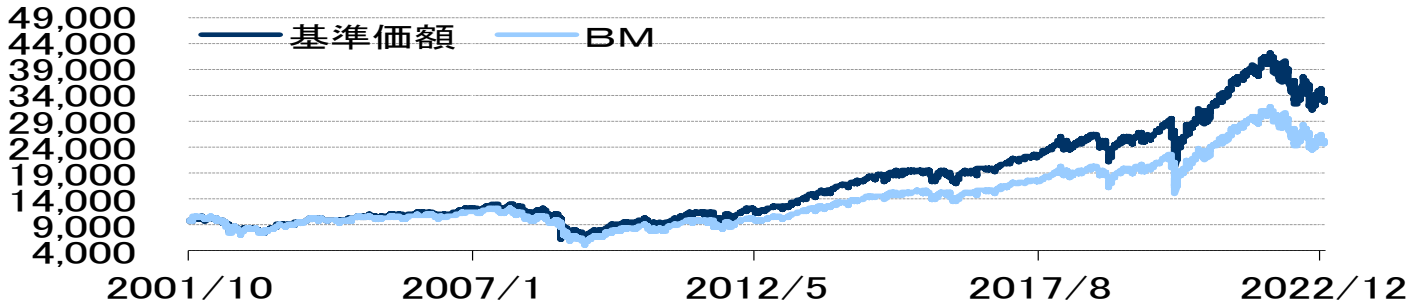
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 3.41	4.70	△ 0.82	△ 21.32	17.75	231.29
BM	△ 3.12	4.64	△ 0.89	△ 21.36	14.66	148.68
差異	△ 0.29	0.06	0.07	0.04	3.09	82.61

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※S&P500種株価指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社に帰属しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：197

	銘柄	国名	業種	%
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	5.85
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.34
3	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.89
4	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	2.06
5	MERCK & CO.INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.33
6	BERKSHIRE HATHAWAY INC.	アメリカ	各種金融	1.33
7	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.27
8	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	電気通信サービス	1.27
9	ADOBE INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.22
10	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.21

■ 株式組入上位5業種（%）

1	ソフトウェア・サービス	14.28
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	12.21
3	テクノロジー・ハードウェア	9.14
4	ヘルスケア機器・サービス	6.59
5	各種金融	5.39

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年12月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

49 億円

■ 設定日

2001年10月16日

■ ベンチマーク

MSCI欧州株価指数

（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース）

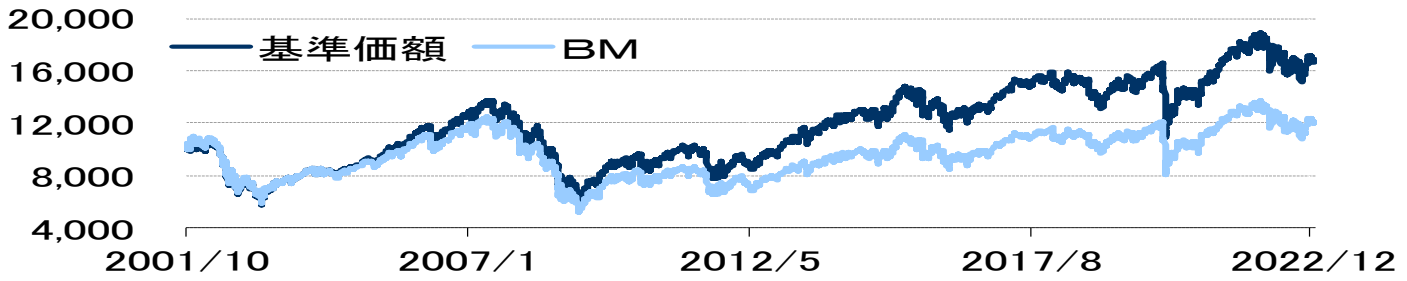
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 1.13	11.46	4.57	△ 9.94	3.99	68.14
BM	△ 1.10	12.14	4.05	△ 10.49	1.92	21.11
差異	△ 0.03	△ 0.68	0.52	0.54	2.07	47.03

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：164

	銘柄	国名	業種	%
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	3.21
2	NOVO NORDISK A/S	デンマーク	医薬品・バイオテクノ・ライフ	3.01
3	ASML HOLDING NV	オランダ	半導体・半導体製造装置	2.22
4	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.11
5	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.03
6	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	フランス	耐久消費財・アパレル	2.02
7	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.77
8	SHELL PLC-NEW	イギリス	エネルギー	1.76
9	BP PLC	イギリス	エネルギー	1.61
10	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.60

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	イギリス	20.31
2	フランス	14.78
3	スイス	13.73
4	オランダ	12.02
5	ドイツ	10.77

■ 株式組入上位5業種(%)

1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	12.48
2	銀行	9.82
3	資本財	9.54
4	食品・飲料・タバコ	9.09
5	エネルギー	8.02

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年12月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

■ 純資産総額

215 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックス

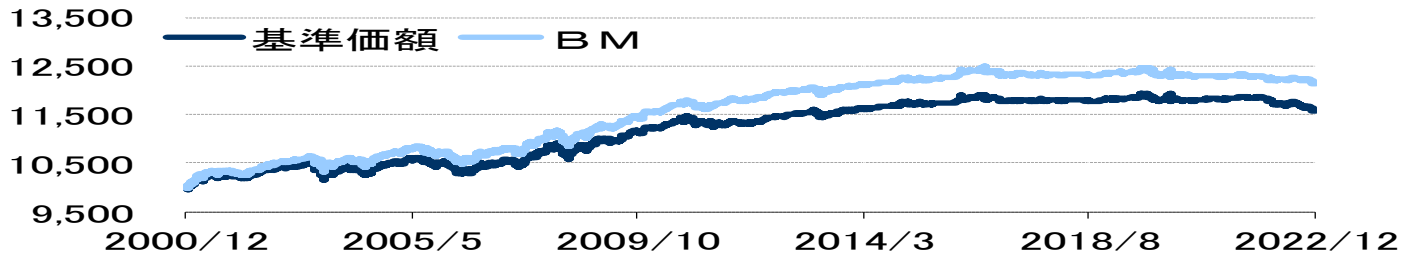
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.75	△ 0.96	△ 1.18	△ 2.45	△ 2.03	15.65
BM	△ 0.60	△ 0.69	△ 0.76	△ 1.23	△ 1.52	21.27
差異	△ 0.14	△ 0.27	△ 0.42	△ 1.22	△ 0.51	△ 5.62

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	BNPパリバ	フランス	Baa1	A-	11.67
2	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	A1	A	4.31
3	第7回HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	4.31
4	HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	4.03
5	第1回サンタンデール銀行	スペイン	A2	A+	3.86
6	第12回クレデイ・アグリコル	フランス	A3	A-	3.43

■ 格付別構成比率(%)

AAA	0.00
AA	3.05
A	81.44
BBB	15.51
BB以下(無格付含)	0.00

■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	0.78%
平均利回り	1.16%

■ 債券種別構成比率(%)

国債	8.84
地方債	1.05
特殊債・財投債	11.36
金融債	0.00
社債等	78.37
その他	0.00
短期資産等	0.39

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。
※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付けを採用します。
※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理･運用を行います。

変額保険のリスクについて

①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。